

(別紙資料2)

平成23年度学校業務改善に係る取組状況

淡路市立津名中学校

1 学校業務改善にかかる校内委員会について

(1) 名称

・業務改善推進委員会(通称:業務改善PT)

(2) 構成

・校長、教頭、事務職員1名、各学年1名の計6名。

(3) 開催状況

・原則、毎月第1水曜(11/2 現在:5/12、6/15、7/11、8/11、9/7、10/5 の計6回)。

2 取組状況

(1) H23 取組計画について

| 項目 | 内容 |
|--------------------|---|
| PT 設置(PJ 会議実施) | 職員の声を基に、課題の精選、実践計画。事業取組状況や検討内容の周知。 |
| 実態調査 | 「勤務時間適正化プラン」の「各学校が主体的に取り組む内容」を用い実施。 |
| メールチェック習慣化(職朝の見直し) | 教頭より職員へ「デイリーメール」を配信。毎朝のメールチェックを義務化。また、連絡事項をメールに集中することで、職朝の時間を大幅に短縮。 |
| メールマガジン配信 | 「業務改善メルマガ」。業務改善PJ会議の会議録を中心に配信。PJの内容を周知。 |
| 学校日誌電子化 | Excelで作成。1日ごとにプリントアウト。行事予定表とのデータ共有による効率化。 |
| 校内研修 | グループ協議(6班編制)。 「津名中の教師のゆとりを生み出すには」 アンケート結果を受け、以下4点に絞って協議。 ・校務分掌の見直し。 ・校時表の見直し。 ・休暇の取得。 ・その他、ゆとりを生み出す策。 「ルールブックの見直し」  |
| ルールブック見直し | ver.2を9月に発行。 |
| 休暇取得促進 | 年休等を計画的に取得。「年休(代休)の計画的取得計画表」作成。あわせて、管理職からの助言&声掛け。 |
| 校時表見直し | 昼休み5分延長し、教師と生徒にゆとりを。11/7~12/21まで試験実施。 |
| Excel&Word研修 | 校務の情報化推進のため。教育用PCのリース会社より講師派遣。全4回。 |

(2) 現段階の成果

・会議時間の縮小。会議の減少。

(3) 現段階の課題

・職員の転出入による意識&積み重ねの差。一方で新風という長所もあり。

- ・規範意識の低さ。チームワークの構築。意識改革の推進。
- ・公的なインフラ整備(1月には改善される予定)。

(4) 年度末への取組 (1)以外で

- ・デスククリーン(机上フラット化)。
- ・校務分掌業務一覧表作成。校務分掌の分担の平準化。
- ・共有フォルダの整理。
- ・調査、検証、報告。
- ・次年度への引継。

3 自校(推進校)の取組を、市内各学校で有効活用のためのアドバイス

- ・目的を明確に。動機付け。
- ・すぐに結果が出るものばかりではない。根気よく。
- ・管理職のリーダーシップが試される。
- ・全職員が参加。一部の職員だけの取組ではいけない。
- ・協働。共育。職員の意識改革。
- ・規範意識、チームワーク、働き方を、考え身につけさせる研修プログラムが必要。